

# 学校だより 浅海



2023  
3

松山市立浅海小学校  
2023.3.1



## 1年間お世話になりました！

校長 秋山 徹也

昨年度同様に、今年度もあっという間の1年間でした。引き続き新型コロナウイルス感染症対策に注力しましたが、今年度は様々な教育活動や行事等が、少しずつ「本来」もしくはそれに近い形で行うことができました。これも、保護者や地域の皆様方のおかげと、心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。

さて、今年度を終えようとしている今、改めて思い起こすことがあります。それは、子どもたちや保護者・地域の皆様方とのかかわりから、たくさんの幸せや喜びをいただいたということです。

人とかかわるときの言葉や振る舞いが、人の心を温かく優しく包む衣にも、人の心を鋭く突き刺す刃（やいば）にもなり得ることは自明のことです。また、同じ言葉や振る舞いであっても、タイミングやその場の状況によっては、一見（一聴）すると刃のように思えても実は衣であったり、その逆であったりもします。

私自身のエピソードを、少しご紹介します。

お昼休みなどに子どもたちが、「校長先生！～～～（「見てください」「聞いてください」など）！」と、運動場の遠いところからでも満面の笑顔で手を振り駆け寄ってきてくれて、できるようになったことを伝えてくれたり遊びに誘ってくれたりすると、本当に心が温かくなります。

また、各学級での発表会等に呼んでいただいた後などに、子どもたちに簡単なお礼状を書くことがあるのですが、それを見た子どもたちの喜ぶ様子を担任から聞くと、これもまた、聞いたこちらの方がうれしく温かい気持ちになります。

他にも、ふだんは元気に走り回っている元気な子が、授業中みんなが一か所に立ったまま集まり先生の説明を聞いているときに、隣で見えにくそうにしている子に気付き、その子の背中をそっと押してあげ、自分と入れ替わってよく見えるようにしていた姿を見かけたこともありました。

時に地域の方からご指導をいただいたこともありました。これこそ、「一見刃に見えても実は衣」であろうと感じました。学校のことを思ってくださっているからこそ、伝えにくいことをお伝えいただいたと思っています。ありがとうございました。

人とかかわるときの言葉や振る舞いというのは、本当に大切です。それらひとつで、人生が変わってしまうことさえあり得ます。だからこそ浅海っ子たちには、ぜひ、温かく豊かな言葉の使い手となり、優しく思いやりある振る舞いのできる人になってほしいと願っています。

浅海っ子はじめ、皆様方との出会いに、心より感謝申しあげます。

1年間、本当にありがとうございました。

感謝

# SDGsアライアンス校として

12月号で紹介したように、本校は、松山市から「SDGsの目標につながる探求的な、学習や体験活動を、より一層推進するため」に「SDGsアライアンス校」に認定されました。そこで、SDGsへの取組も通して、「浅海愛」にあふれた児童の育成に努めています。3月号では、自然と文化を生かしたSDGsへの取組を二つ紹介します。

認定証⇒



## 海と友達になろう

浅海オレンジタイム (AOT) という名称で、1学期に3～6年生は総合的な学習の時間、1・2年生は生活科で学習します。3～6年生は、縦割り班で「探求」するテーマを考え、調査や実験・体験などを行います。活動した内容をまとめた後、全校で発表会を行います。最後は、海岸清掃を行い、海遊びです。



SDGsの目標



流木や貝殻を生かして

海水からの塩づくり



海の生き物調査



海釣り



寒天づくり(1・2年生)



海岸清掃



海遊び

## 受け継ごう! 「浅海獅子舞」

「浅海郷土クラブ」として活動しています。まず、獅子舞には欠かすことのできない自分専用の篠笛を作ります。郷土クラブでは、定期的に獅子の頭と尾、太鼓、笛役に分かれて練習を行います。獅子の舞いや篠笛、太鼓のメロディは、これまで上の学年からの口伝によって引き継がれてきましたが、今年度からは地域の方が講師として協力してくれるようになりました。



SDGsの目標



篠笛作り

獅子舞奉納

この事業では、市からSDGsコンダクターに認定された大学生が来校し、一緒にSDGsについて学び、活動をしました。この活動紹介が「広報まつやま」3月1日号に掲載されています。



参観日での披露

口伝による引き継ぎ